Nishitokyo City
西東京市 議会だより
第71号
平成28年11月15日
(2016年)
〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会

西東京市議会15周年記念
議場コンサート ～チェロとピアノの二重奏～

12月4日(日) 1部：午前11時　2部：午後1時30分／田無庁舎 議場

平成28年
第3回 定例会

西東京市議会15周年を記念して、議場コンサートを開催します。
議場で生の演奏に触れていただくことで「議場」を、そして「議会」を身近なものとして感じていただき、今後の市議会の活動をご覧いただければと思います。
皆さんの市議会へのご来場を議員一同、お待ちしています。
≪申込方法等の詳細は８面をご覧ください≫

チェリスト
矢口　里菜子さん

ピアニスト
田口　翔　さん

平成27年８月に開催された弦楽四重奏による議場コンサート

○第3回定例会
会期…9月2日(金)～10月4日(火)　33日間

	審議件数	可決・採択 ※	否決・不採択	継続
市長提出議案	26	26		
条例	12	12		
予算	7	7		
決算	6	6		
その他	1	1		
議員提出議案	8	8		
請願・陳情	12	3		9

※「可決・採択」には、承認、同意、認定、趣旨採択を含んでいます。

主な議案

平成27年度一般会計・特別会計決算
7面へ

一般会計の決算（歳入額760億6,029万5,333円、歳出額744億594万4,271円）及び、５つの特別会計の決算について認定しました。

手数料条例の一部を改正する条例
6面へ

証明書等のコンビニ交付に係る手数料及び建築基準行政事務の移管に係る手数料等を規定した改正案を可決しました。

建築審査会条例
6面へ

平成29年度から建築基準行政事務の開始に伴い、建築審査会の設置を定めた条例案を可決しました。

議員の寄附行為は禁止されています

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ったり、時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出すことは禁止されています。
実費が伴う行事や会費が必要な催しを案内する際には、会費を明示してください。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

紙面の紹介（もくじ）

2面
一般質問の要旨
納田　さおり　議員（無所属②）
森　信一　議員（民主改）
坂井　かずひこ　議員（民主改）
二木　孝之　議員（民主改）
森　てるお　議員（無所属①）
たきしま　喜重　議員（みらい）

3面
一般質問の要旨
小峰　和美　議員（みらい）
山崎　英昭　議員（みらい）
桐山　ひとみ　議員（みらい）
大竹　あつ子　議員（共産）
森住　孝明　議員（共産）
保谷　清子　議員（共産）

4面
一般質問の要旨
藤岡　智明　議員（共産）
田代　伸之　議員（公明）
大林　光昭　議員（公明）
藤田　美智子　議員（公明）
佐藤　公男　議員（公明）
小幡　勝己　議員（公明）

5面
一般質問の要旨
後藤　ゆう子　議員（ネット）
かとう　涼子　議員（ネット）
浜中　のりかた　議員（自民）
酒井　ごう一郎　議員（自民）
田中　のりあき　議員（自民）
保谷　なおみ　議員（自民）

6面
一般質問の要旨
小林　たつや　議員（自民）
遠藤　源太郎　議員（自民）
浅野　髙司　議員（自民）
本会議の審議から
委員会の審査から

7面
予算・決算特別委員会の審査から
会議の開催状況

8面
議案の議決結果一覧
請願・陳情の結果
今定例会で可決した意見書
次回定例会のお知らせ
会議録の公開予定
議場コンサートのお知らせ
編集後記

「声の市議会だより」をお届けしています。
（デイジー版・CD版）

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館（042-421-4545）へお問い合わせください。

一般質問（1）

一般質問の要旨

第3回定例会で27人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

◇質問の詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

凡例

自由民主党西東京市議団	（自　民）
西東京市議会公明党	（公　明）
日本共産党西東京市議団	（共　産）
統一会派みらい	（みらい）
民主改革フォーラム	（民主改）
生活者ネットワーク	（ネット）
無所属	（無所属）

駅近でこそ生きる3館合築複合化 統合庁舎位置は住民投票で決着を

納田　さおり（無所属）

3館合築複合化の位置

質問　市民会館跡地での3館合築複合化は無理があると懇談会提言書の附帯意見で述べられ、市民も議会も重く受けとめているが、あくまでも市民会館跡地での建て替えに固執するのか。

答弁　同種の課題を抱える3館の課題解消のために現地建て替えを検討している。

意見　田無駅南部地域の施設対応、西東京市のまちづくりを踏まえ、妥当な案なのか真剣に考えるべきだ。

住民投票で庁舎位置決着を

質問　丸山市長は統合庁舎の位置を政治決着できなかった。だからこそ住民投票に委ねるべきだ。

答弁　暫定的な対応方策を当面の方策とする。

市民広場での仮設庁舎建設

質問　仮設庁舎を田無庁舎市民広場に建築する案は3館合築を田無庁舎敷地で行う場合の阻害要因になる。イングビルや近隣民間施設の活用を検討すべきだ。

答弁　最も実現性の高い市民広場で検討する。

地域防犯力の強化

質問　8月に田無町で高齢者に関する痛ましい事件が立て続けに起きた。高齢者生活状況調査の名簿を警察と共有し、見守りを強化していくべきではないか。

答弁　名簿の一括提供は庁内検討で難しいと判断した。

小中学生のスマホ保有増加に伴いSNSについて教育を徹底せよ！

森　信一（民主改）

質問　スマホ保有の低年齢化、ネットいじめ等SNSの運用について教育現場での指導状況を問う。

答弁　スマホの保有状況や活用状況など、学校の実態を踏まえ指導計画を立てて市内小中学校全校で実施している。

質問　定年退職後に地域の子どもたちのために活動できる場を行政がコーディネートできないか。

答弁　子どもの貧困対策など、地域で活動している多様な団体と連携して体制づくりを考えていく。

質問　公立保育園全園に看護師を配置できないか。

答弁　現在、配置されていない1園についても嘱託職員を募集している。

意見　看護師は責任のある職種なので、嘱託職員ではなく正規職員の採用を要望する。

質問　28年度末、ベテランの図書館職員（司書）が3名定年退職する予定だが、その補充について問う。

答弁　事業量の調査、ヒアリングを実施し、各部の職員定数を定めていく。

質問　3館合築について市長は新たな選択肢を考えているのか。

答弁　市民会館と中央図書館を複合化し、田無公民館を存置することも検討する必要があると考えている。

災害時重要な自治会・町内会促進 シルバー人材センターの課題は？

坂井　かずひこ（民主改）

質問　災害時における地域組織の重要性や災害に備える地域活動の必要性が再認識されている。防犯、防災、高齢者への支援、子どもの見守りなどの利点もあるが、市の対策は。

答弁　地域コミュニティの再構築については中心を担う自治会・町内会等を支援するとともに市内を4つのエリアに区分し、地域で活動するさまざまな団体が連携、協力し、つながっていく仕組みとして地域協力ネットワークの設立に取り組んでいる。

質問　西東京市シルバー人材センターの会員数は減少している。また約8割の会員しか就業できていない。シルバー人材センターの課題でもある会員の増加と就労場所の確保に向けた取り組みは。

答弁　高齢者の生きがい、就労の場としてシルバー人材センターの役割は大きく、会員の増加及び会員の皆様の就業の場の確保は重要と考える。シルバー人材センターでは新たに就業開拓推進チームを組織し、9月から10月にかけ20カ所以上の取引先を新たな就業開拓につなげるべく訪問する予定だ。こうした取り組みの成果に期待するとともに市としては引き続きできる限りの協力、助言をしていく。

地域との交流も多い地域密着・多機能型施設について問う

二木　孝之（民主改）

質問　富山型デイサービスは、身近な住宅地に立地し、高齢者、障がい者、障がい児、乳幼児など利用者を限定せずに受け入れ対応する小規模・多機能型であり、全国1千400カ所に開設されている。本市においては、保育所や学童クラブと一体で、地域との交流も多い地域密着・多機能型施設を事業展開する考えはないか。

答弁　7月に厚生労働省が、介護と保育、障がい者ケアなど複数の福祉サービスを一つの施設で一体的に提供できる仕組みを検討し、地域内で支え合う地域共生社会の実現に向けた検討部会を立ち上げた。このことも踏まえ、取り組みについて検討課題にしたい。

質問　休日、夜間の医療体制の充実と休日診療体制の周知は大変重要である。暮らしの便利帳では、休日診療が「ケース別INDEX」「50音別さくいん」に明記されていない。重要な情報として改訂を求める。

答弁　休日診療に関する情報は市報の各号に必ず掲載している。健康事業ガイドも保存用として活用いただきたく、冊子型を作成した。

質問　がん検診事業における検診対象者は、年齢が偶数という条件を、「前年度に未受診者」と改めるべき。

答弁　現在検証している。

老朽化や耐用年数の課題を抱える市民会館

暫定方策採用に市民合意はない！ えっ！不燃ごみは77％を焼却？

森　てるお（無所属）

質問　庁舎統合、暫定方策の採用に市民合意はない。

答弁　図書館・公民館跡地活用の代替案として、田無庁舎周辺での仮設庁舎整備の検討を指示した。熊本地震後、市民広場に仮設庁舎を整備する方針で検討を進めることとした。

質問　暫定案策定前に市民意見を聞かないのか。

答弁　庁舎統合の必要性については一定の理解を得た。真の統合には市民合意が必要だ。今後の庁舎を考える上で暫定方策が望ましい。今後方針案を再策定し市民の意見を聞く。

質問　市民意見を踏まえ案をつくるがどうか、との問いかけがない。手順が悪い。

答弁　暫定案は統合の第一歩。一定の理解は得た。

質問　合意は得たのか。

答弁　暫定的な対応方策が望ましいと考えている。

意見　市民合意がない。

質問　不燃ごみの行方は。

答弁　2週間に1回収集している。中には可燃ごみとして焼却できるものがあり、不燃ごみの中の可燃系ごみは8.6％である。

質問　多摩地域ごみ実態調査に76.6％を焼却とある。

答弁　柳泉園で選別して燃やせるものは燃やしている。ダイオキシンは基準以下だ。

意見　数字が合わない。きちんと把握せよ。

生活保護の不正受給を許すな！ 新都知事との連携は大丈夫か！

たきしま　喜重（みらい）

質問　数名の医療関係者から、ジェネリック医薬品の拒否、重複処方、かかりつけ医制度無視の中核病院への紹介状なしの無料診療、タクシーで通院など、生活保護の不正受給の実態と苦情等を聞いている。

答弁　医療扶助は適正に実施している。ジェネリックの使用は生活保護医療扶助でも促進するよう国から通知を受けており、医師会等に協力をお願いしている。重複処方についてはお薬手帳を持参するよう指導する。

質問　ケースワーカーが適正基準人数よりも少ないことに問題がある。

答弁　人員配置は、被保護世帯数の動向等を踏まえ企画部と調整を図る。

質問　小池新都知事が誕生し、積極的に改革に取り組んでいる姿勢等大いに評価する。市長会では別候補を応援していたため、東京都と西東京市の連携等に不安はあるが大丈夫か。

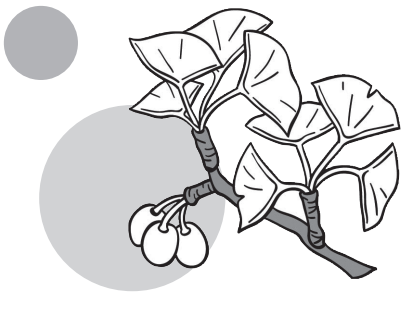
答弁　さまざまな機会を通し、多摩の課題解決に向けて連携を深めていく。市長会では応援していない。

その他質問等

◇本市へのふるさと納税の現状

◇再開発と乗降客数の関係そして西武柳沢駅の現状

◇都市計画道路3・4・9号線の進捗と問題点



一般質問（2）

子どもたちへの思い 障害者への理解と支援

小峰　和美（みらい）

質問　7月に市内小学校で周年事業があった。周年事業を成功させようと体育館で一生懸命合唱する子どもたちの姿に感動した。しかし当日は気温が高く、複数の児童が体調不良を訴え、保健室で休養する状況が発生した。子どもの命を守るための安全対策は。

答弁　実施時期について、子どもたちの健康を第一に考え実施する。

意見　エアコンをつければ解消しますよ。

質問　札幌市では発達障害者への支援のポイントをまとめた冊子「虎の巻」を作成し、発達障害の特性や周囲の人との間で生じやすい思い違いや対処法についてイラストを用いて、わかりやすくまとめている。同様の取り組みはできないか。

答弁　支援者だけでなく、一般の方の障害者に対する理解促進にも活用できる冊子と伺っている。関係機関と協議し調査・研究する。

大型児童センターについて

意見　児童館イメージの型にはまらない、高校生年代も含めた子どもたちの居場所づくりを考える大型児童センターが必要と考える。

スポーツ大会出場費助成について

意見　大会出場の経費を拡充し、市民選手が参加しやすい状況を作るべき。

市民の声を生かしたまちづくりを 庁舎と3館合築は白紙から見直せ

山崎　英昭（みらい）

質問　庁舎の場所や規模、施設内容を決めずに公共施設のあり方を決めることがどうしてできるのか。

答弁　現時点での考えを位置づけ、早期策定を目指す。

質問　市民広場への仮設庁舎設置案選択の理由と市民広場がなくなる影響は。

答弁　保谷庁舎の耐震対応を図るため。市民周知や代替の検討等丁寧に対応する。

質問　3館合築の検討経過が3月以降示されていない。公共施設全体のあり方を検討する中でなぜ先行して進めなければならないのか。

答弁　丁寧な市民参加を実施し年内をめどに策定する。

質問　効率的な行政運営のため中核市を目指すべきだ。

答弁　メリットや課題、影響を踏まえ動向を注視する。

質問　ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー化工事のおくれを懸念する。早期実現を。

答弁　おくれが生じているが早期実現に向け努力する。

質問　保谷駅南口3・4・12号東町線の早期実現を。

答弁　東京都に要望する。

質問　自転車の安全対策と専用レーンの整備推進を。

答弁　警察や関係団体と連携してさまざまな取り組みを今後も進めていく。

質問　台風や豪雨など水害への対策強化を推進せよ。

答弁　貯留槽など今後も計画的に対策を講じていく。

仮設庁舎整備が検討されている田無庁舎市民広場

精密検査の受診率向上に公費一部負担より医師会が管理強化を！

桐山　ひとみ（みらい）

検診事業について

質問　28年度から喉頭がん600円、前立腺がん500円と一部負担の有料化が実施された。周知の現状と残す検診事業の有料化への考えは。

答弁　有料化した検診実績の集約は今後となるが、25年度から取り組んでいる受診率向上事業等により一定の成果が出ているものと考える。今後の検診事業は慎重に検討する。

質問　2がんの有料化に当たり医師会の公益事業として2次検診（精密検査）費用の一部助成制度を市と連携するとした現状は。

答弁　がん検診の精密検査は保険診療にかかわる部分であり、取り扱いは医師会が各関係機関に照会中と聞いている。

意見　有料化のかわりに精密検査の助成を検討しているが、保険診療に対して助成はできないと考える。

オリンピックの報告について

質問　市内にゆかりのある体操女子宮川紗江選手、トランポリン棟朝銀河選手、トライアスロン佐藤優香選手の3選手はメダルには届かなかったが、好成績を残した。夏休みであり市民全体で支援できたのではないか、報告会の予定は。

答弁　市民まつりを含め、調整している。

障害のある方にもない方にも 優しいまちづくりを目指せ

大竹　あつ子（共産）

障害者殺傷事件について

質問　7月に相模原市の障害者施設に男が侵入し、19人の方が襲われ亡くなった。事件の背景には社会的差別が関係していないとは言えない。社会全体で考えていくことが大事だ。市長の見解を伺う。また、差別は絶対に許さないと伝える教育が必要だ。小中学校で障害者理解のための教育はどのように行っているか伺う。

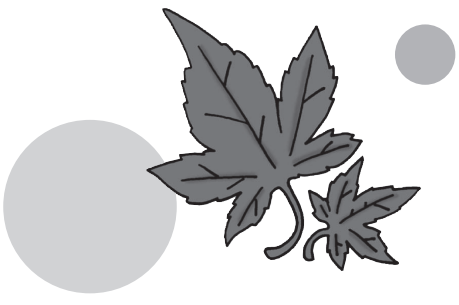
答弁　障害のある方の個人としての尊厳が守られ、住みなれた地域の中で安心して生活できるまちづくりを進めていく。学校においては、特別支援学校の生徒と直接交流する中で障害に対する理解を深めている。

意見　障害者が暮らしやすい社会は障害のない人にも暮らしやすい社会だ。障害のある人にもない人にも優しいまちづくりを目指すよう求める。

都道3・2・6号線の交通安全対策について

質問　8月に下保谷2丁目交差点でバイクと自転車の衝突事故があった。事故の現状把握と交通安全対策はどのように行うのか伺う。

答弁　田無警察署では、28年度中に信号機を、青や赤信号の残り時間を表示することで無理な横断や信号無視の防止を図るゆとりシグナルに交換するとしている。



若者支援として「奨学金制度」「家賃補助」の支援を求める

森住　孝明（共産）

若者支援について

質問　他市では、国の地方関連予算などを活用して独自の給付型奨学金を創設する動きが広がっている。本市の奨学金制度と基金の取り扱いについて伺う。

答弁　奨学金制度は、公立高等学校の授業料の無償化等により現在休止している。基金のあり方については今後の検討課題だ。

意見　他市に学び、具体的な検討と積極的な取り組みを行うよう強く求める。

質問　都内23区では、若者や子育て世代に対する家賃補助制度が広がっている。本市は、家賃補助制度がないがどう考えているのか。

答弁　国の生活困窮者自立支援制度に基づく住居確保給付金事業により、就労意欲のある方が住居を失う心配なく就労していただけるよう支援していく。

空き家対策について

質問　空き家対策の現状について伺う。

答弁　28年度は、空き家等の適正管理に主眼を置き、実態調査を行っている。庁内に設置した空き家等対策検討委員会で庁内連携と情報の共有化を図っていく。

質問　ごみ屋敷についてはどう把握しているか。

答弁　個々の事情によることが多く、必要な機関で連携して取り組んでいる。

事務事業評価（補助金・負担金の見直し）は、該当者の意見を聞け

保谷　清子（共産）

事務事業評価について

質問　「平成28年度事務事業評価（中間報告）」は補助金、負担金の見直しで、受益者負担の検討、一律支給について見直すなどの評価が多く、暮らしを守る視点がない。今後の進め方は。

答弁　行財政改革推進本部で最終評価を決定し、予算への反映や総合計画など政策に反映させていく。

意見　幼稚園の補助金や修学旅行の補助金の削減も含まれている。該当する市民の意見を聞くべきだ。

保育行政の充実について

質問　待機児解消のために、早急な認可保育園の増設が必要だ。今後の見通しについて伺う。保育士確保のために、給料の上乗せや家賃補助の検討を求める。

答弁　認可保育園4園、小規模保育所9カ所、事業所内保育所1カ所の整備を予定している。市独自の上乗せは、財政状況を踏まえ調査研究する。

胃がん検診について

質問　4月から胃がん検診が2年に1回となった。国は当面の間、年1回実施でもよいとしている。なぜ2年に1回としたのか。

答弁　胃がん対策を総合的に判断した結果、2年に1回とした。

意見　市民の健康にとって大きな影響を与える。

一般質問（3）

市民負担増とサービス低下 行財政改革の暴走市政をただす

藤岡　智明（共産）

行財政改革と市民生活

質問　4年目を迎えた丸山市政は、国保料、保育料の連続引き上げ、喉頭・前立腺がん検診の受益者負担導入など、行財政改革の嵐が吹き荒れ市民生活を脅かしている。行革と市民生活の実態をどう捉えているのか。

答弁　行革で捻出した資源で市民サービスの向上を進めた。今後も自治体経営の確立に向け、行革を進める。

健康応援都市と行革

質問　市総合戦略の基軸である健康応援都市とは。

答弁　保健医療、社会経済、居住環境など、さまざまな分野で改善を進め、まちそのものの健康を目指す。

質問　国保料、介護保険料引き上げによる家計圧迫やがん検診の自己負担導入は、結果的に受診抑制につながり病気の重篤化を招く。健康応援都市の趣旨に反するのではないか。

答弁　選択と集中により重点施策に効果的配分をする。

庁舎統合と耐震対応

質問　庁舎統合では保谷庁舎の耐震診断・評定を行い、その結果を生かした対応が基本ではないか。見解は。

答弁　耐震診断実施結果により対応を図るよりも、仮設庁舎を整備し、より早期に保谷庁舎の耐震対応（取り壊し）を図ることが望ましいと総合的に判断した。

「住みたいまち・選ばれるまち」を目指し、魅力あるまちづくりを

田代　伸之（公明）

質問　今後、若者がまちづくりに参画する仕組みをつくるべき。

答弁　若者がまちづくりに継続して参加、意見を施策に反映する仕組みを検討。

質問　市民の利便性の向上、交流人口増、防災対策等の視点から、駅前のWi－Fi環境の整備を行うべき。

答弁　通信環境整備で効果的な情報伝達が可能。整備に向けた検討を進める。

質問　西武鉄道が2017年春に導入を発表した座席指定の直通列車について、ひばりヶ丘駅の停車を積極的に事業者へ要望すべき。

答弁　交流人口の増加も望める。事業者に今後の運行等について、確認調整する。

質問　観光等の視点で、鉄道沿線都市との広域連携、地域間交流を進めるべき。

答弁　本市では実績がない。今後どのような取り組みが可能か調査研究する。

質問　交通上課題のある市道211号線について、早期の安全対策を要望する。

答弁　地域課題を示し、東京都へ早期整備を要望する。

意見　都への要望は当然。市としても独自の安全対策を実施すべき。

質問　市内北部地域は市民交流施設数、施設老朽化が課題。施設整備をすべき。

答弁　コミュニティの視点も踏まえ、あり方を検討。

全世代全対象の地域包括支援体制を構築すべき！

大林　光昭（公明）

質問　介護、子育て、生活困窮など複合的な困難を抱えた方が相談しやすい体制や誰もが支援を受けられ、居場所にもなる拠点づくりなど、全世代全対象の地域包括支援体制を構築すべき。

答弁　高齢者にとどまらず、障害のある方や子どもを対象とする地域包括ケアの提案は意義が大きい。

質問　神奈川県相模原市の障害者施設での事件を踏まえ、本市の対策を問う。

答弁　市内公立施設に安全確保を指示し、各施設に注意喚起を行った。田無警察署では、市内施設の安全確保の実態把握を順次行う。また、警察と連携して市内施設の従業者向けに防犯訓練を実施する。

質問　地域のつながりの希薄化などにより気軽に頼れる人が少なく、産前産後の支援が必要な方が増加している。取り組み状況を問う。

答弁　平成28年4月から母子保健コーディネーターを配置。助産師等による健康相談、授乳指導、訪問相談支援のほか、今後は家事支援等も準備していく。

質問　中学校特別支援教室に通う生徒への進路指導について問う。

答弁　生徒及び保護者が必要な情報を持ち、主体的な進路選択ができるように進路指導の一層の充実を図る。

不条理な「緊急一時保育」制度を早急に改正せよ！

藤田　美智子（公明）

質問　台風9号が上陸した8月22日、東伏見の急傾斜地崩壊危険箇所に「土砂災害警戒情報」と「避難勧告」が発令された。発令内容に間違いがあったようだが、誤報の原因を問う。

答弁　避難勧告の際、確認をせず錯誤した住所で発令してしまった。すぐに誤りが判明し訂正を行ったが大きな混乱を生ずる可能性があったことを重く受けとめている。大変に申しわけない。

意見　直ちに避難しなければならない緊迫した状況の中で、誤報は断じてあってはならない。経緯を検証し再発防止に万全を期せ。

質問　緊急時の保育を支える「緊急一時保育」で、保護者の要望に反し、厳しい対応がとられていることを市民相談を通じて知った。緊急事態が継続・再発しているにもかかわらず①同一事由は利用ができず②市長の裁量が限定的である。この点は不条理な制度と言わざるを得ない。保護者の困難な状況をしっかりと支援できるよう、課題を見直し一日も早い改正を求める。

答弁　制度のあり方を含め、見直しを図っていきたい。

その他質問等

◇在宅療養支援窓口の開設について

◇在宅療養後方支援事業について

10月に保谷保健福祉総合センター内に開設した在宅療養連携支援センター「にしのわ」

避難所の水備蓄を拡充せよ ともに家庭での水備蓄の推進を！

佐藤　公男（公明）

避難所の水備蓄を拡充せよ

質問　児童用の学校備蓄の飲料水を拡充し一般避難者にも配布するため、29年度予算に反映させよ。

答弁　現在帰宅困難児童用の飲料水を拡充し、避難者への配布を検討している。

指定管理者制度を導入している保谷こもれびホール

家庭での水備蓄促進を！

質問　家庭での水備蓄をさらに促進するために、もっとアイデアを出すべき。

答弁　防災講話、ホームページ、総合防災訓練等を通して家庭での備蓄を促す。

こもれびホール初の利益！

質問　民間の指定管理として初の利益が計上されるが、その要因は。

答弁　利用料収入の増、事業原価の圧縮、事務費・光熱水費の削減が挙げられる。

20万都市のホール像とは？

質問　20万都市にふさわしいホールの構想は文化芸術振興会からも提言されているが、次期文化芸術振興計画にどう位置づけられるか。

答弁　31年度からの文化芸術振興計画に位置づける。

ひばりが丘団地の人口増加

質問　ひばりが丘団地は30年9月までに約3千500人の増加見込み。保育園、学童クラブは対応できるのか。

答弁　保育園2カ所、学童クラブは新校舎にスペースを確保する。校舎完成までは児童センター内に暫定的にスペースを確保する。

庁舎統合暫定案は市民意見重視 庁舎駐車場料金が高い、改善せよ

小幡　勝己（公明）

質問　一般会計は当初予算より16億5千800万円増えた。普通交付税の状況を問う。

答弁　交付決定額は27年度から約6億円減額である。

質問　2庁舎統合で田無庁舎中庭暫定案を問う。

答弁　田無庁舎市民広場に仮設庁舎整備案を検討、年内決定に向け取り組む。

質問　庁舎駐車場料金が高い。子ども事業の無料拡大とスポセン、こもれび利用者も2時間無料にせよ。

答弁　子ども事業の無料拡大や事業者と今後検討する。

質問　年金申請時に必要な住民票も手数料免除にせよ。

答弁　公的年金の受給開始請求に戸籍謄本・抄本は交付手数料無料。住民票も無料化に向け準備を進める。

質問　8月から特養の費用が一気に3万円値上がりした方もいた。背景と大意は。

答弁　制度の持続可能性のため、8月から判定に用いる収入に非課税年金も含める改正が行われた。

質問　泉小を平日開放せよ。

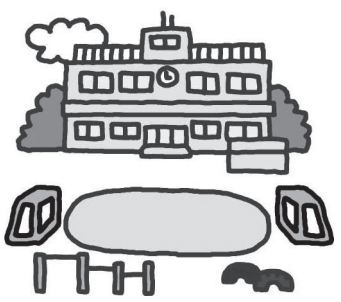
答弁　週1日程度検討する。

質問　特別教室の空調機の設置について再度要望する。

答弁　29年度中学校の実施設計委託契約が完了した。

質問　南町・柳沢・北町など交通不便地域を解消せよ。

答弁　日野市、小平市、柏市、大和市を参考にしている。



一般質問（4）

子どもの貧困対策を推進するために、統括する部署を定めよ！

後藤　ゆう子（ネット）

質問　西東京市総合戦略に子どもの貧困対策が位置づけられたことを評価する。対策の推進には現状把握の必要があると思うが、実態把握はどうするのか。

答弁　28年度の児童扶養手当支給対象者の現況届にひとり親の就労支援に関する質問など子どもの貧困対策につながる質問を記載したアンケート用紙を同封した。年内に集計予定で、その結果を今後の対策に生かす。

質問　子どもの貧困対策の所管部署はどこか。

答弁　子どもの貧困対策は多岐にわたる課題であると認識している。現状は、子育て支援部、教育部、健康福祉部などが取り組んでいる。それぞれの部署の取り組みの連携や情報共有などが課題と考えている。他団体の動向も注視しながら所管部署について検討する。

意見　対策を着実に推進するため各課の取り組みを統括する部署を定めるべき。

質問　柳泉園の焼却炉の排ガスから高濃度の水銀が検出された事故を受け、特別回収期間を設けＰＲし、家庭で眠っている水銀含有製品を積極的に回収せよ。

答弁　柳泉園と構成3市で効率的な回収を検討する。

その他質問等

◇食育について

◇市民参加について

つまずきを抱えた子どもへの支援の体制づくりを急げ！

かとう　涼子（ネット）

質問　上向台小の大規模改造工事が中止となった。国の補助金がおりなくても必要な改修工事ができるように計画を改めるべきだ。

教育長　教育環境の維持向上に学校施設の改修は不可欠。29年度以降の計画を関係部署と協議検討する。

質問　高学年以上になってからつまづきが顕著化する子どもに対し、人的支援の体制を確保すべきだ。

教育長　校内委員会で必要な支援策を組織的に検討するとともに、学校への専門職派遣で特別支援教育の一層の充実を図る。

意見　支援を必要とするすべての子に手が届くよう、指導補助員の学級、学校への配置を検討すべきだ。

質問　中央図書館と市民会館の2館を合築し、田無公民館を存置する案が示されたが、大きな方針転換ではないか。懇談会の提言をどう踏まえたのか。

部長　中央図書館の機能拡充を図るべきとの附帯意見を踏まえ、選択肢として検討せよとの指示を市長からいただいた。案を取りまとめる前に、市民の意見聴取を丁寧に進めていく。

その他質問等

◇在宅介護者への支援について

◇職員の人材育成について

◇図書館のあり方について

合築が検討されている中央図書館

進めるのは決断！全ては西東京市の未来のために！

浜中　のりかた（自民）

庁舎統合方針年内決定へ！丸山市政で大きく前進！

質問　庁舎統合方針は年内決定で間違いないのか。また、田無庁舎市民広場への仮設庁舎を整備する方策で検討している理由は。

答弁　庁舎統合方針の年内決定に向けて取り組む。保谷庁舎の耐震対応を早期に図る上でも、最も実現性の高い田無庁舎市民広場への仮設庁舎を整備する方針で検討を進めている。

意見　方針を支持する。西東京市の大きな課題である1市2庁舎体制が丸山市長の4年間で大きく前進した。さらに丁寧に市民の声を聞き、統合を実現しよう。

井荻駅から東伏見駅付近まで鉄道立体化に向けた整備計画に位置づけられた東伏見駅

西武線の連続立体化を！

質問　中央線の武蔵境駅周辺などは線路を高架化し、あかずの踏切を除却した。本市の連続立体化はどうなっているのか。

答弁　東伏見駅付近は平成28年3月に事業化に向けて社会資本総合整備計画に位置づけた。田無駅から花小金井駅付近は事業工法区間に位置づけされていないため、引き続き都に要望する。

意見　西東京市の未来のために、西武新宿線・池袋線ともに連続立体交差の実現を目指し、東京都や西武鉄道に強く要望をして、是が非でも、実現をさせよう。

進め！まちづくり！もっと便利に進め！健康づくり！もっと健康に

酒井　ごう一郎（自民）

西武柳沢駅周辺について

質問　10年以内の事業着手を予定しているが、開始時期がわからないために、計画道路区域内では建て直すのか計画を待つのか不安を抱えている。市の見解は。

市長　ご意見を伺い勉強会等の中で対応したい。

意見　事業認可前にはさまざまなケースが出てくる。引き続き対応をお願いする。

公園行政について

質問　東伏見公園は日陰や休憩できる場所が少ない。日よけ等を設置せよ。

部長　ベンチ等への日よけの設置を東京都に伝える。

質問　ボール遊びができる、健康遊具があるなど特色ある公園づくりにより、利用効果を高める工夫が必要だ。市の見解は。

市長　先進市の調査・研究や公園の実態を踏まえ公園配置計画の中で検討する。

観光振興事業について

質問　本事業は市の総合戦略に位置づけられ新たな展開が求められる。見解は。

市長　28年度も来訪者数の増加や地域経済活性化につなげたい。まち歩きイベントに合わせウオーキングイベントも行う。

その他質問等

◇公共施設等総合管理計画について

◇3館合築複合化について

◇農業技術の支援について

81番目の都立公園となる東伏見公園

入札の市内業者の優遇措置の適用ひばりヶ丘駅周辺のまちづくり

田中　のりあき（自民）

質問　西東京市が発注する工事等の入札は、西東京市指名競争入札指名基準に基づいて行われているが、市内業者の優遇措置の適用を受けて入札に参加している現状について問う。

市長　市が発注する工事等の入札は、発注金額に対応した等級区分の登録業者の中から指名することを原則としている。市内業者で対応できる工事は、市内業者の受注機会の確保に努める。

部長　市内業者の受注機会の確保は重要であると認識している。市内業者の取り扱いについては、実態調査などにより現状を把握し、他団体での取り組みを参考にして、優遇措置の適用のあり方を検討する。

質問　西武鉄道の設計作業のおくれから、ひばりヶ丘駅北口バリアフリー化の事業進捗への影響を問う。また、都市計画道路事業完了時に自転車駐車場が大幅に不足するが、対応を問う。

市長　西武鉄道からの作業遅延の申し入れにより、設計等の期間を変更する協定を締結した。設計業務完了後、速やかに工事に関する協定を結べるよう調整する。駅周辺での自転車駐車場の需要は高くなっている。駅周辺で自転車駐車場の整備が可能な用地を調査し、開発の際は整備をお願いする。

泉小学校跡地整備は、地域活用空白期間をできるだけ短く！

保谷　なおみ（自民）

公共施設等マネジメント基本計画(案)について

質問　公共施設のマネジメントに当たっては、建設費だけでなく、施設の除却費まで含め、トータルにかかる費用(ライフサイクルコスト)を考慮する必要がある。例えば、公民館で利用者1人当たり、ライフサイクルコストで幾らかかるかを明らかにするなど、わかりやすく示し、納税者意識で公共施設をマネジメントすることが大事だと考えるが、見解を伺う。

答弁　公共施設の利用状況やライフサイクルコスト等、公共施設に関する情報を一元化・見える化するため、ファシリティマネジメントシステムの構築を進める。

泉小学校の跡地活用について

質問　28年度中に跡地活用が決定した場合、現在の暫定開放や今後の整備スケジュールはどうなるのか。

答弁　29年度の整備着手を想定している。暫定開放は、整備開始とともに終了する。

意見　整備期間中は地域での活用ができないが、なるべく活用できない空白期間は短くしてほしい。

がん検診について

意見　女性に関するがん検診は受診機会を増やすことで早期発見・早期治療につながる。

一般質問（5）、本会議の審議から、委員会の審査から

下野谷遺跡、はなバス、マラソン大会、創業支援について

小林　たつや（自民）

質問 下野谷遺跡のデジタルコンテンツについて伺う。

答弁 タブレットなどを利用し、高精細CG等で復元した映像などを可視化、解説化することにより、遺跡の価値と魅力を伝える。

意見 リアルなCG画像とともに、スペシャルコンテンツとして、アニメを利用したものやSF的なものを用意し、市の魅力を高めるべきである。

質問 はなバス南第4ルートについて伺う。

答弁 課題区間においては、利用者の改善が図られた場合は、運行便数の見直しの可能性も検討する。

意見 健常者にとっては、わずかな距離でも、高齢者等の皆様には、きついところも多々ある。そのような課題を解決するのがコミュニティバスだと思う。早急な対応を望む。

質問 日野市の創業支援PlanTを視察してきた。本市の対応について伺う。

答弁 SOHO施設整備促進の支援に着手している。

意見 ネット環境整備も含め今以上に進めるべきだ。

オリンピックの気運醸成事業について

意見 今年も開催されるマラソン大会に、当市オリンピアンの参加を求む。また、聖火リレーを26市で行えるよう要請されたい。

市内観光業は多摩六都各市と連携し、人の動きを活性化せよ

遠藤　源太郎（自民）

質問 市内観光事業は多摩六都各市との連携が大切だ。

答弁 スケールメリットを生かした魅力向上を図る。

質問 向台中央通り工事の進捗と信号機の設置や交通規制をどのようにするのか。

答弁 工事は順調に進んでいる。信号等は警察と協議。

質問 日常備蓄をはじめ、ちょっとした防災対策が効果があることをPRせよ。

答弁 みずからの備えや地域の助け合いの重要性が熊本地震でも再認識された。日常備蓄の普及啓発を図る。

質問 未満児の13時間保育は、子どもの心の発達によいとは言えない。

答弁 行政は保育ニーズに応えなければならない。長い時間預かる保育園として保護者には家庭で子どもと過ごす時間を大切にし、子どもの心身の健康に十分留意するよう指導している。

質問 小中学生の夏休みの生活・問題行動への指導は。

答弁 本市では問題行動はない。長期休業前には被害者にも加害者にもならないように、生活指導、心の教育の充実、家庭や地域社会への啓発に努める。

質問 数校の小学校には郷土資料室を設け、古い農具、家具、民具を展示しているが、古きを知り、未来をよりよきものにしてほしい。

答弁 有効活用していく。

輝く子どもたちを次の東京へ「西東京子どもニュース」発信を

浅野　髙司（自民）

質問 2020年東京大会に向け、市内の子どもたちを取り上げたニュースの発信等の取り組みを進めては。

答弁 スポーツ・文化等所管課で教育委員会等と連携しながら情報収集し、積極的な情報発信に努める。

質問 庁舎と中央図書館・田無公民館・市民会館に関する市民の提言を受けて市長の考えは。

答弁 保谷庁舎の耐震対応を早期に図ることが最も重要。庁舎統合方針の年内決定に向けて取り組む。

質問 平成27年5月に空家特別措置法が施行されたが、本市の対策は。

答弁 総合的に空き家等の課題に対応できる部署の検討が必要。ごみ屋敷問題は個々の事情に応じて関係部署が連携し対応する。

質問 西武池袋線連続立体化の本市に向かった動きは。

答弁 事業推進に向けた課題等を情報収集し、事業主体である東京都に要望する。

質問 商店会の加入促進を含め、新たな商店会活動の担い手確保に向けた支援は。

答弁 各種支援策とあわせ、商工会とも連携し、地元商店会の活動への参加を促す。

質問 青嵐中学校に夜間照明を設置できないか。

答弁 夜間照明が及ぼす影響等の課題を整理し、財政状況も勘案する必要がある。

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、各委員会での主な審査内容についてお知らせします。

●企画総務委員会

「手数料条例の一部を改正する条例」

【説明】①証明書等のコンビニ交付、②建築基準行政の移管による手数料の設定、③戸籍の証明に係る手数料の免除の3点に係る規定の整備をする。

【主な質疑】

問 コンビニ交付の手数料を100円安くしたのは。

答 マイナンバーカードの普及促進とコンビニ交付の利用促進を図ることにより、窓口の混雑緩和が図られ、市民サービスの向上につながるものと考える。

問 審議会の答申と本条例案の手数料の違いは。

答 住民票の写しは審議会の答申額200円、改正案200円。戸籍の附票の写しは答申額300円、改正案200円。印鑑登録証明は答申額200円、改正案200円。租税及び公課に関する証明は答申額300円、改正案200円。戸籍に関する事務手数料は、審議会条例の規定、法令の規定に基づき、審議会の所掌事務としないことになっており、答申をいただいていない。

【結果】賛成全員で可決

●文教厚生委員会

「中学校固定学級への支援員配置に関する陳情」

【趣旨】市の中学校固定学級には東京都の規定により8人に1人の教員が配置されているが、支援員は配置されていない。障害を抱えた生徒への支援対策として支援員の配置を求める。

【市からの説明】本陳情の中の「支援員」は、本市においては「介助員」という名称である。現在の配置状況について、市立中学校の特別支援学級では、移動教室等で付き添い補助として介助員を配置している。

【主な質疑】

問 介助員制度が始まった経緯は。

答 特別な支援を要する子どもでありながら、通常の学級で授業等についていくことができる子を支援するために始まった制度である。

問 陳情者と教育委員会の意見交換の場を持つ機会は。

答 そのような場面をつくっていくことは十分できる。

【結果】「現在、中学校において校外活動時に置いている介助員を、校内活動時にあっても置くことを検討されたい」との意見を付し、賛成全員で趣旨採択

●建設環境委員会

「建築審査会条例」

【説明】建築基準行政事務の移管を受け、29年度から業務を開始することに伴い、建築基準法に基づき、建築審査会を設置する。建築審査会は、法律、経済、建築、都市計画、公衆衛生または行政に関する知識と経験のある者の中から選任する委員5人以上で組織し、本市は5人を予定している。

【主な質疑】

問 建築審査会の委員の構成及び審査会の開催回数は。

答 審査会の委員、専門調査員はいつごろ決めるのか。また、審査会設置当初から専門調査員を設置するのか。

答 建築審査会の委員は、各分野の経験者で、弁護士、大学教授、特定行政庁の経験者等を想定。建築審査会は月1回、案件がない場合は開催しないため、年10回程度の開催を想定。審査会委員の設置時期は、28年度末までに選定を行い、29年4月に委嘱予定である。専門調査員は、専門的な調査等が必要な場合に設置。

【結果】賛成全員で可決

本会議の審議から

本会議で審議が行われた議案の主な審議内容についてお知らせします。

「一般会計補正予算（第1号）の専決処分について」

【説明】7月31日に執行された東京都知事選挙に係る費用について、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかったため、地方自治法の規定により市長において専決処分を行い、これを報告し、承認を求める。歳入歳出予算の総額に6千633万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ700億5千833万7千円とする。

【主な質疑】

問 今回の参議院・都知事選挙は18歳選挙権の影響があるのか比較的好調な投票率であったと考える。この高い投票率を平成29年2月の市長選挙まで維持するための取り組みを検討しているか。

答 選挙啓発ポスターの募集や作品の紹介、学校での模擬投票への選挙備品の貸し出しなど、若年層への啓発も続けていきたい。

【結果】賛成全員で承認

「工事請負契約の締結について」

【説明】ひばりヶ丘駅南口駅前広場改良工事について、一般車両及び公共交通車両の交通、歩行者動線等の調査結果を踏まえ、安全に配慮した歩行者動線の確保などを目的に行うもの。契約金額は2億1千168万円。工期は平成30年2月28日まで。

【主な質疑】

問 西側踏切の歩行者と車の交通安全について、協議・検討はされたのか。

答 警視庁との協議により、西側の踏切で北側からの車両の滞留を減少させるため、歩道の直線部を南に長くしたことで、駅前広場に進入する車両がUターンする形になった。工事を進める中で車両や歩行者の安全対策として交通誘導員の配置や看板の設置を検討する。

問 工事の時間帯は。

答 夜1時から朝6時までである。

問 駅利用者への周知は。

答 今後事業者と協議し、個別に手渡しや看板等の設置を含め周知を考えている。

【結果】賛成全員で同意

予算・決算特別委員会の審査から、会議の開催状況

予算・決算特別委員会の審査から

平成28年度補正予算と平成27年度決算の主な審査内容をお知らせします。
◇質問内容の詳細は会議録に掲載しています。
「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

平成28年度補正予算

◆一般会計（第2号）

【説明】歳入歳出予算の総額に15億8千838万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ716億4千672万4千円とする。

【主な質疑項目】

・図書館運営管理費負担金の新座市との相互利用に関する経緯、積算根拠、今後の状況について
・証明書等コンビニ交付事務委託料の先行例の状況、手数料と受益者負担金の考え方について
・認証保育所施設整備補助金に係る廃園・新設の仕組み、定員、面積、園庭について
・予防接種事業費のB型肝炎ワクチンの対象者への周知、接種人数、発症者数について
・都市農業活性化支援事業費補助金の事業内容、販路拡大の検討について
・各種教育推進等事業費の指定状況、指定の経緯、取り組み内容、成果の還元方法について

【結果】賛成多数で可決

◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
◆駐車場事業特別会計
◆介護保険特別会計
◆後期高齢者医療特別会計

【結果】賛成全員で可決

平成27年度決算

◆一般会計

【説明】歳入決算額は760億6千29万5千333円、歳出決算額は744億594万4千271円である。

【主な質疑項目】

・法人市民税の増要因の分析について
・市民消費喚起事業の検証と事業効果について
・生活困窮者自立支援事業の相談状況、相談に来られない方への対処について
・病児保育、子育て支援ショートステイの拡充について
・創業支援、一店逸品事業の取り組みと成果について
・はなバスのルート見直しにおける課題への対応、交通空白地域の今後について
・適応指導教室の取り組み、課題、進路について

◆国民健康保険特別会計

【結果】賛成多数で認定

◆下水道事業特別会計
◆駐車場事業特別会計
◆介護保険特別会計
◆後期高齢者医療特別会計

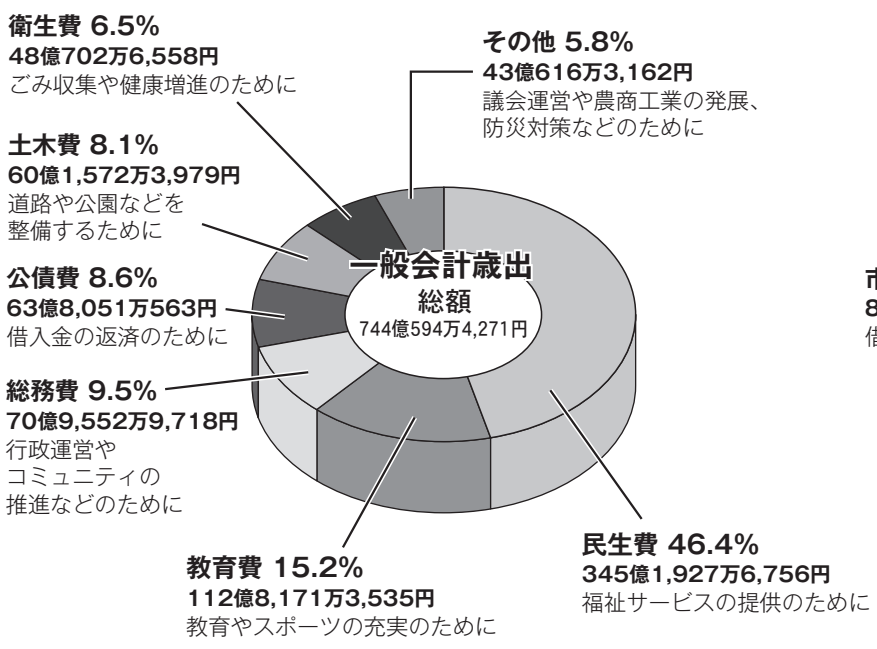
【結果】賛成全員で認定

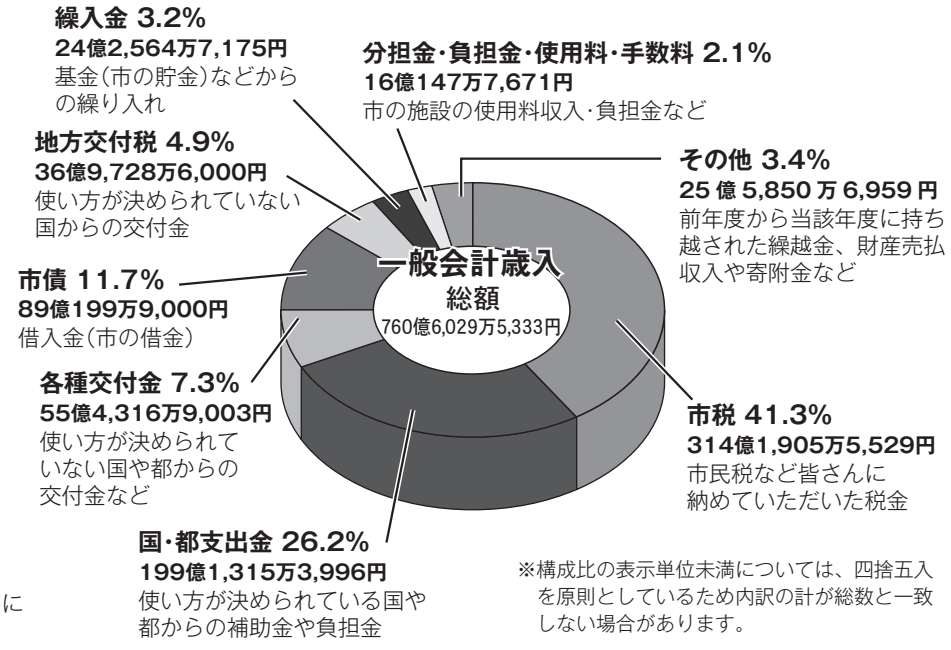
平成28年度各会計補正予算の概要

会計名	当初予算額	補正額（第1号）	補正額（第2号）	補正後予算額
一般会計	699億9,200万円	6,633万7,000円	15億8,838万7,000円	716億4,672万4,000円
特別会計				
国民健康保険特別会計	229億3,607万3,000円	2億9,333万5,000円	－	232億2,940万8,000円
下水道事業特別会計	33億6,757万6,000円	3,199万円	－	33億9,956万6,000円
駐車場事業特別会計	1億3,205万4,000円	2,549万6,000円	－	1億5,755万円
介護保険特別会計	154億7,695万1,000円	2億3,082万5,000円	－	157億 777万6,000円
後期高齢者医療特別会計	42億4,601万9,000円	8,901万1,000円	－	43億3,503万円
合計	1,161億5,067万3,000円	7億3,699万4,000円	15億8,838万7,000円	1,184億7,605万4,000円

平成27年度各会計決算の概要

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	778億1,993万6,000円	760億6,029万5,333円	744億 594万4,271円	16億5,435万1,062円
特別会計				
国民健康保険特別会計	232億1,308万4,000円	233億5,399万9,214円	230億7,659万1,998円	2億7,740万7,216円
下水道事業特別会計	31億5,430万9,000円	31億3,388万9,812円	31億 189万8,887円	3,199万 925円
駐車場事業特別会計	1億2,939万6,000円	1億3,845万9,792円	1億1,296万3,047円	2,549万6,745円
介護保険特別会計	146億3,168万5,000円	146億5,818万 100円	144億2,916万2,081円	2億2,901万8,019円
後期高齢者医療特別会計	40億8,357万1,000円	41億1,645万5,443円	40億6,180万3,100円	5,465万2,343円
合計	1,230億3,198万1,000円	1,214億6,127万9,694円	1,191億8,836万3,384円	22億7,291万6,310円





※構成比の表示単位未満については、四捨五入を原則としているため内訳の計が総数と一致しない場合があります。

会議の開催状況
（平成28年7月～10月）

7月
26日 議会報編集委員会

8月
18日 庁舎統合方針検討特別委員会
30日 議会運営委員会、会派代表者会議

9月
2日 **第3回定例会**・本会議（議案等上程～議決・付託）、予算特別委員会、議会報編集委員会
5日 本会議（一般質問）
6日 本会議（一般質問）
7日 本会議（一般質問）
8日 本会議（一般質問・議案上程～付託）、議会運営委員会、企画総務委員会、文教厚生委員会
9日 建設環境委員会
12日 予算特別委員会
13日 決算特別委員会、予算特別委員会、議会運営委員会
14日 議会運営委員会
15日 庁舎統合方針検討特別委員会
16日 議会運営委員会、会派代表者会議
20日 建設環境委員会
21日 予算特別委員会
23日 本会議（委員会審査報告・議員提出議案等上程～議決）、議会運営委員会
26日 決算特別委員会
28日 決算特別委員会
29日 決算特別委員会
30日 決算特別委員会

10月
3日 決算特別委員会
4日 本会議（委員会審査報告～議決）、議会運営委員会、会派代表者会議
17日 建設環境委員会
26日 議会報編集委員会
28日 文教厚生委員会

議決結果（議案、請願・陳情）、意見書、次回定例会のお知らせ等

第３回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成　×反対

件名 ＼ 会派（）は所属議員数		自由民主党西東京市議団（8）※1	西東京市議会公明党（5）	日本共産党西東京市議団（4）	統一会派みらい（4）	民主改革フォーラム（3）	生活者ネットワーク（2）	無所属①（1）	無所属②（1）	結果
	一般会計（第１号）の専決処分について	賛成全員								承認
補正予算（平成28年度）	一般会計（第２号）	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	国民健康保険特別会計（第１号）	賛成全員								
	下水道事業特別会計（第１号）									
	駐車場事業特別会計（第１号）									
	介護保険特別会計（第１号）									
	後期高齢者医療特別会計（第１号）									
決算（平成27年度）	一般会計	○	○	×	○	○	○	○	×	認定
	国民健康保険特別会計	○	○	×	○	○	○	○	○	
	下水道事業特別会計	賛成全員								
	駐車場事業特別会計									
	介護保険特別会計									
	後期高齢者医療特別会計									
条例制定	建築審査会条例	賛成全員								可決
	中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例									
条例改正	組織条例	賛成全員								可決
	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例									
	市税条例等									
	都市計画税条例									
	西東京市における地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例									
	人にやさしいまちづくり条例									
	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例									
	手数料条例	○	○	○	○	○	○	×	○	
	印鑑条例									
	個人番号の利用に関する条例	○	○	×	○	○	○	×	○	
その他	工事請負契約の締結について	賛成全員								同意
議員提出議案	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書	賛成全員								可決
	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書									
	次期介護保険制度改正における「要介護１・２」の生活援助サービスの見直しに関する意見書									
	北朝鮮が核実験を実施したことに抗議する意見書									
	無年金者対策の推進を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	
	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書									
	子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書	×	×	○	○	○	○	○	○	
	駅ホームのホームドアの設置及び安全対策の強化を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	

※１　議長は採決に加われないため、採決時は７名。

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○ひばりが丘地域に期日前（不在者）投票所の設置を求める陳情（趣旨採択）（企画総務）

○西東京市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情

○中学校固定学級への支援員配置に関する陳情（趣旨採択）（以上、文教厚生）

継続審査となったもの

○西東京市合築複合化にかかわる陳情（企画総務）

○田無公民館・中央図書館の市民会館への合築複合化案に関する請願

○３館合築複合化案に関する陳情

○中央図書館・田無公民館を現在の場所に存続させることの陳情

○３館合築複合化に関する陳情

○３館合築の棚上げに関する陳情

○３館合築に関する陳情（以上、文教厚生）

○仮設庁舎整備の再考を市民参加で求める陳情

○仮設庁舎整備に反対する陳情（以上、庁舎特別）

今定例会で可決した意見書

「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

無年金者対策の推進を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣

チーム学校推進法の早期制定を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣、総務大臣

次期介護保険制度改正における「要介護１・２」の生活援助サービスの見直しに関する意見書
【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、厚生労働大臣、財務大臣

駅ホームのホームドアの設置及び安全対策の強化を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、国土交通大臣

北朝鮮が核実験を実施したことに抗議する意見書
【提出先】内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣

次回定例会のお知らせ

■第４回定例会は12月２日（金）から開催予定

詳細は、決まり次第ホームページでお知らせします。

■請願・陳情の提出締切

請願・陳情は随時受け付けしていますが、第４回定例会中に審査を行うためには、11月25日（金）までにご提出をお願いします。

※定例会開催予定日に変更がある場合は、ホームページ等でお知らせします。

会議録の公開予定

会議名	冊子		ホームページ
・本会議	・情報公開コーナー ・議会図書室 ・市内図書館	11月中旬	11月下旬
・常任委員会 ・議会運営委員会 ・庁舎統合方針検討特別委員会	・情報公開コーナー ・議会図書室	11月上旬	
・予算特別委員会 ・決算特別委員会		12月中旬	12月下旬

西東京市議会15周年記念「議場コンサート」

日　時　12月4日（日）１部：午前11時～　２部：午後１時30分～（各回45分程度）
場　所　田無庁舎３階　議場
出　演　矢口　里菜子さん（チェロ）、田口　翔さん（ピアノ）
曲　目　愛の挨拶（エルガー）、白鳥（サンサーンス）、ハンガリー狂詩曲（ポッパー）ほか
定　員　各回100人（鑑賞無料）
申　込　往復はがきの往信面に、①代表者の住所・氏名・電話番号　②人数（２人以内※３歳以上）　③希望公演（１部又は２部）を明記し、11月22日（火）（消印有効）までに、〒188-8666 西東京市役所議会事務局へ郵送（申込多数の場合、抽せん）
※返信表面には、住所・氏名の記入をお願いします。

編集後記

秋も深まり、紅葉の季節になりました。

市議会は、市民の皆様の要望や意見をお聞きして、行政に反映させていく役割を持った議決機関です。議会の決定に基づいて、市長（執行機関）との間でチェック・アンド・バランスの機能を果たしています。また、市議会では市民の皆様の生活に密着した身近な問題について議論を交わしています。

この「議会だより」を通して、西東京市議会を身近に感じ、また関心を持っていただけるような紙面づくりを議会報編集委員一同心がけています。紙面づくりについての皆様の意見、要望等をぜひ、お聞かせください。（S）